

和歌山縣報

第五百九十號

大正七年九月二十四日
水曜 日

○訓令

○和歌山縣令第三五號

穀物検査員旅費支給規程左ノ通り定ム

大正七年九月二十四日

内務部
穀物検査所

和歌山縣知事 池松時和

穀物検査員旅費支給規程

第一條 穀物検査員ニシテ直接検査ニ關スル用務ノ爲其ノ擔當郡内ヲ旅行スルトキハ年額旅費拾圓ヲ支給ス但シ臨時検査事務ニ従事スル検査員ハ此限ニ在ラス

第二條 年額旅費ハ左ノ通區分シ其ノ前半年分ヲ九月ニ後半分ヲ翌年三月ニ支給ス
前半年分
後半年分

參圓

七圓

第三條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ執務セサル日又ハ普通旅費ノ支給ヲ受クル日ヲ通シテ一箇月中十五日以上ニ及フトキハ其ノ月分ヲ控除シ月割ヲ以テ支給ス

第四條 新ニ就職シタルトキハ其ノ月ヨリ退職又ハ死亡シタルトキハ其ノ月迄ノ分ヲ月割ヲ以テ支給ス但シ退職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ際支給ス

第五條 前二條ニ依リ支給スヘキ旅費ハ第二條ノ定額ニ依リ之ヲ算定ス

○和歌山縣訓令第三六號

原	物	同	蠶	水	測	農	縣	同	警	郡	廳
蠶	產		業	產		事	立				中
種	陳	支	取	試	候	試	分	察	役		一
製	列		縮	驗		驗	學				
造											
所	場	所	所	場	所	場	校	署	署	所	般

農事講習所
縣立圖書館
工業試驗場
輸出綿織物検査所
穀物検査所
仙溪學園

縣費支辨官吏員職員以下臨時手當支給規程左ノ通改正シ大正七年九月分ヨリ之ヲ適用ス

大正七年九月二十五日

和歌山縣知事 池松時和

縣費支辨官吏員職員以下臨時手當支給規程

第一條 縣費支辨ノ官吏員職員以下(休職中ノ者ヲ除ク)ノ者ニハ當分ノ内俸給給料手當ノ外毎月臨時手當ヲ支給ス但シ六箇月以上繼續シテ雇傭セサル者及有給ノ官職ヲ有シ又ハ日勤セサル囑託員ニ對シテ此ノ限ニ在ラス

第二條 臨時手當支給額ノ割合ハ左ノ區別ニ依ル

- | | |
|------------------|------|
| 一俸給給料手當月額貳拾圓以下ノ者 | 四割五分 |
| 一同 參拾五圓以下ノ者 | 四割 |
| 一同 五拾圓以下ノ者 | 三割五分 |
| 一同 七拾五圓未滿ノ者 | 三割 |
| 一同 七拾五圓以上ノ者 | 二割五分 |

必要アル場合ニ於テハ別ニ支給額ヲ指定スルコトアルヘシ

第三條 臨時手當支給ニ當リ上級者ノ俸給給料手當及臨時手當合算額カ下級者ノ俸給給料手當及臨時手當合算額ニ比シ少額トナルトキハ其ノ上級者ニ對シテハ下級者ノ受クル最高額迄ノ臨時手當ヲ支給ス

第四條 前二條ノ俸給給料手當額ニハ兼務及他ノ公務ヨリ受クル俸給給料又ハ手當ヲ加算ス
臨時手當支給額ハ縣費ヨリ受クル俸給給料手當額ニ依リ之ヲ算定ス

第五條 俸給給料手當ニシテ年額ノモノハ其ノ十二分ノ一日給ノモノハ其ノ三十日分ヲ以テ月額ト看做ス

第六條 臨時手當ハ縣費支辨俸給給料手當支給ノ例ニ準シ毎月俸給給料手當支給ノ定日ニ於テ之ヲ支給ス

附 則

本規程發布ノ際現ニ在官又ハ在職セサル者ノ大正七年九月分臨時手當ハ従前ノ規程ニ依リ之ヲ支給ス

大正七年九月分ノ臨時手當ハ支給定日ニ拘ラス隨時之ヲ支給ス

○ 告 示

○和歌山縣告示第三一〇號

西牟婁郡產牛畜產組合栗栖川定期家畜市場ハ本年九月二十四日休場ス

大正七年九月二十四日

和歌山縣知事 池 松 時 和

○町村吏員異動

○大正七年九月二十一日認可

海草郡巽村	有給助役	大田清太郎
同郡野崎村	助役	藤本九左衛門
日高郡切目川村	助役	宮本元吉

大正七年九月二十四日印刷
大正七年九月二十四日發行
每月六日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印刷 和歌山市四番丁愛宕地
發行所 和歌山市四番丁愛宕地
和歌山日新新聞社印刷部